

北海道帯広市「(仮称) 帯広駅南口再開発プロジェクト」への投資  
～合同会社帯広開発への投資～

地域創生ソリューション株式会社（本社：東京都千代田区/代表取締役社長：佐藤 学）は、当社を無限責任組合員とする「ALL-JAPAN 観光立国ファンド 2 号投資事業有限責任組合」を通じ、土地の取得及びホテル開発を行う「合同会社帯広開発」に対する匿名組合出資を実施しました。

本件は、閉店後長らく再開発が期待されていた旧長崎屋帯広店跡地を活用し、北海道ホテルブランドによるアッパーミドル層向けライフスタイルホテルを開発するものです。

地域ニーズと成長する観光需要を取り込むことで、帯広駅前における新たなランドマークとして、地域経済の活性化や雇用創出が期待されることから本ファンドの投資方針に合致すると判断しました。

## 1. 案件の概要

施設名称	サウナ&スパリゾート 北海道ホテル帯広駅南
開業	2028 年春頃（予定）
敷地面積/延床面積	6,200.20 m <sup>2</sup> /8,974.08 m <sup>2</sup>
アクセス	帯広空港 から車で約 30 分、JR 北海道本線 帯広駅前
構造規模	鉄骨造、地上 10 階建て
客室	130 室、平均客室面積約 28 m <sup>2</sup>
付帯施設	レストラン、大浴場、スパ、クラブラウンジ
運営	株式会社勝毎ホールディングス（森のスパ リゾート北海道ホテル）
設計・監理	株式会社久米設計
施工	宮坂建設工業株式会社
アセットマネジャー	丸紅アセットマネジメント株式会社

## 2. ホテルについて

本ホテルのオペレータは、株式会社勝毎ホールディングス（森のスパリゾート北海道ホテルを運営）。これまで培ってきた「十勝の愛すべきものをお客様へ」のホスピタリティを基盤に、新しい十勝帯広の象徴となるホテルを目指します。

ホテルコンセプトは「伝統から革新へ」。雄大な景観、冷涼で澄んだ空気、肥沃な大地という十勝の気候・地質・風土そのものをデザインし、木材や石材など地域性を感じさせる素材を取り入れ、国立公園へとつながるアウトドアの世界観を室内空間へと拡張。四季の移ろいを五感で味わえる滞在体験を提供します。

